

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成28年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第9回講義

環境政策と科学技術

環境省総合環境政策局環境計画課長

大村 卓 氏

大村先生からのメッセージ

人類は、科学技術の発展に従って、活動を広げ、繁栄を享受してきましたが、一方で、環境を改変し、人の健康や生物環境、そして地球規模で環境の持続可能性を脅かすに至っています。一方で、環境への影響を把握・予測し、影響を最小化して、健康と生活環境を守り、持続可能な社会を形成していくにも、科学と技術が欠かせません。

環境省では、政策の立案や実施にあたって、工学・理学はもとより、人文科学も含め、科学的知見や技術をフルに活用しており、その実際を政策に即して紹介します。環境を保全する、持続可能な発展のあり方と科学技術のあり方について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時:

2016年6月17日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

大村卓先生

昭和60年、北海道大学大学院工学研究科衛生工学専攻修士課程修了。

民間企業勤務等を経て昭和62年環境庁(現、環境省)入庁。環境影響評価、環境保全、廃棄物処理事業、地球環境関係など環境行政を幅広くご担当。また、OECF、アジア開発銀行といった国際協力機関では環境と開発をご担当。直近では、環境省福島環境再生事務所長、水・大気環境局自動車環境対策課長、水環境課長などを歴任され、現職。

担当:工学系教育研究センター 渡邊康正教授
内線:6908 Mail: ceed-int@eng.hokudai.ac.jp